

2025年度大学院博士前期課程一般入学試験（第Ⅲ期）問題

研究科名	科目名
文学研究科 社会学専攻	共通問題

以下の8つの用語のうち、4つを選んで200字から300字で簡潔に説明しなさい。
なお、選択した問題の番号を必ず記載すること。

1. 支配の3類型
2. 結婚家族（生殖家族）と定位家族
3. シャドウワーク
4. 権力と権威
5. アノミー
6. 官僚制
7. スティグマ
8. エスニシテイ

解答または解答例：

Sample Answer(s) or Outline：

1. 支配の3類型

「解答例」：

支配の3類型とは、マックス・ウェーバーが提示した正当的支配の類型であり、伝統的支配、カリスマ的支配、合法的支配の三つを指す。伝統的支配は慣習や伝統への信仰に基づくものであり、カリスマ的支配は指導者の超人的資質への信奉に基づく。合法的支配は合理的に制定された法と規則に基づき、近代官僚制国家の基盤となる。これらは支配の正当性の根拠の違いを示す理論枠組みであり、近代社会の権力構造を理解する上で重要である。

2. 結婚家族（生殖家族）と定位家族

「解答例」：

結婚家族（生殖家族）とは、個人が婚姻によって形成する家族を指し、配偶者や子どもを中心とする家族単位である。一方、定位家族とは、個人が出生によって所属する家族、すなわち親やきょうだいを含む家族を指す。家族社会学では、個人が成長過程で定位家族において社会化され、その後、結婚家族を形成するというライフコース上の区別が重要とされる。両者の区別は、家族機能や世代間関係を分析するうえで基礎的概念である。

3. シャドウワーク

「解答例」：

シャドウワークとは、イリイチが提起した概念で、市場で賃金が支払われる労働の背後で、無償で行われる補完的な作業を指す。たとえば、セルフサービスの利用、書類作成、情報入力など、本来は企業や専門職が担っていた作業を消費者や市民が担うことが挙げられる。これは近代社会において見えにくい労働形態として拡大しており、労働と非労働の境界を再考させる概念である。

4. 権力と権威

「解答例」：

権力とは、他者の抵抗があっても自己の意思を貫徹できる能力を指す概念であり、ウェーバーはそのように定義した。一方、権威とは、支配が正当なものとして認められ、被支配者が自発的に従う状態を指す。権力が強制力を含みうるのに対し、権威は正統性の承認に基づく点で区別される。この区別は、支配関係や社会秩序の安定性を分析するうえで重要である。

5. アノミー

「解答例」：

アノミーとは、社会規範が弱体化または混乱し、個人の行動を方向づける共通の価値基準が不明確になる状態を指す概念である。デュルケームは急激な社会変動の中で規範が機能不全に陥る状況をアノミーと呼び、自殺研究においてその影響を論じた。また、マートンは文化的目標と制

度化された手段との乖離が逸脱行動を生むとする緊張理論の中でアノミー概念を再構成した。社会変動と規範秩序の関係を理解する上で重要な概念である。

6. 官僚制

「解答例」：

官僚制とは、明確な職務分担、階層的権限構造、文書主義、専門的資格にもとづく任用などを特徴とする組織形態を指す。ウェーバーはこれを近代社会における合理的支配の典型として理論化した。官僚制は効率性・計算可能性を高める一方で、形式主義や目的の形骸化、いわゆる「鉄の檻」に象徴される非人間化の問題も指摘される。近代国家や大規模組織を理解するうえで基礎的概念である。

7. ステイグマ

「解答例」：

ステイグマとは、社会的に否定的な意味を付与された属性や特徴が、個人の社会的評価を低下させる過程を指す概念である。ゴフマンは、ステイグマを「汚名」として捉え、身体的特徴、性格的特性、集団帰属などに付随する社会的烙印が対人関係やアイデンティティ形成に与える影響を分析した。ステイグマは社会的相互作用のなかで生成・再生産されるものであり、差別や排除の理解において重要な概念である。

8. エスニシティ

「解答例」：

エスニシティとは、言語、文化、歴史的経験、宗教などの共有を基盤とする集団的帰属意識や文化的アイデンティティを指す概念である。血統や客観的属性のみならず、社会的相互作用や政治的文脈のなかで構築される側面を持つ。近年では、移民研究や多文化共生、ナショナリズム研究と関連して議論されている。エスニシティは固定的なものではなく、社会的状況に応じて変化・再編される動態的概念として理解される。

出題意図：

Purpose of Question：

1. 支配の3類型

出題意図： ウェーバー理論における正当的支配概念の理解を問う。

2. 結婚家族（生殖家族）と定位家族

出題意図： 家族社会学における基本的概念区分の理解を問う。

3. シャドウワーク

出題意図： 労働概念の拡張および現代社会における労働形態の変容理解を問う。

4. 権力と権威

出題意図： 権力概念と正統性概念の区別および理論的整理能力を問う。

5. アノミー

出題意図： 古典理論およびその展開を含めた基本概念の理解を問う。

6. 官僚制

出題意図： 近代社会の組織原理に関する理論的理解を問う。

7. スティグマ

出題意図： 相互行為論的視点に立った概念理解および差別構造への応用力を問う。

8. エスニシティ

出題意図： 集団帰属と社会的構築性に関する基本概念の理解を問う。